

振動ばく露に関する国際基準等の概要

(労働衛生課)

1. ISO (国際標準化機構) 5349-1 (2001年)

振動工具使用者の10%が白指症状を生じるであろうばく露量

年	1	2	4	8
A (8)	26	14	7	3.7

年 : ばく露年数

A(8) : 1日8時間ばく露時の振動加速度 (m/s^2)

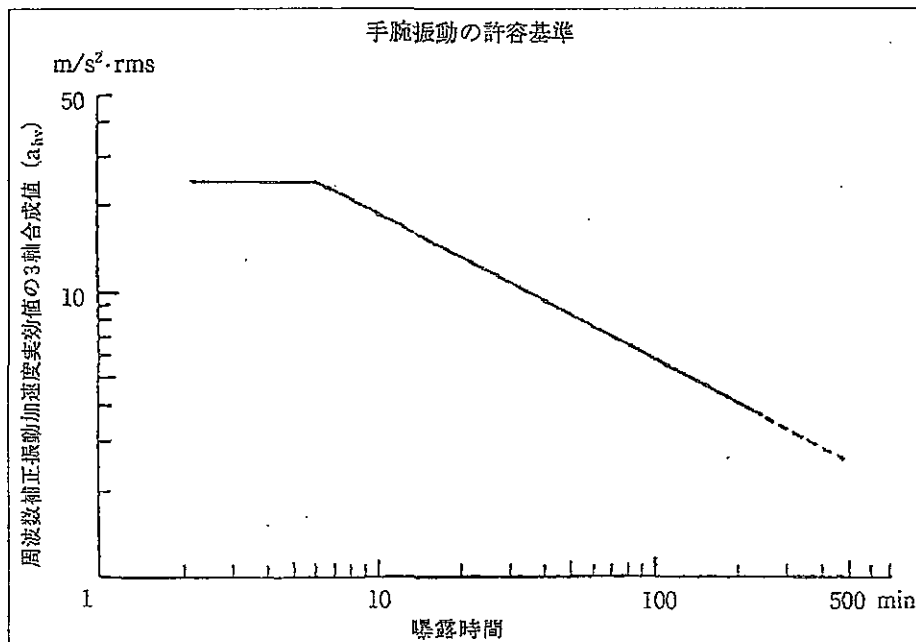
2. (社)日本産業衛生学会の許容基準

$$T = \frac{3763}{(a)^2} \quad (1日8時間ばく露では、2.8 m/s^2)$$

T : 許容ばく露時間 (分)

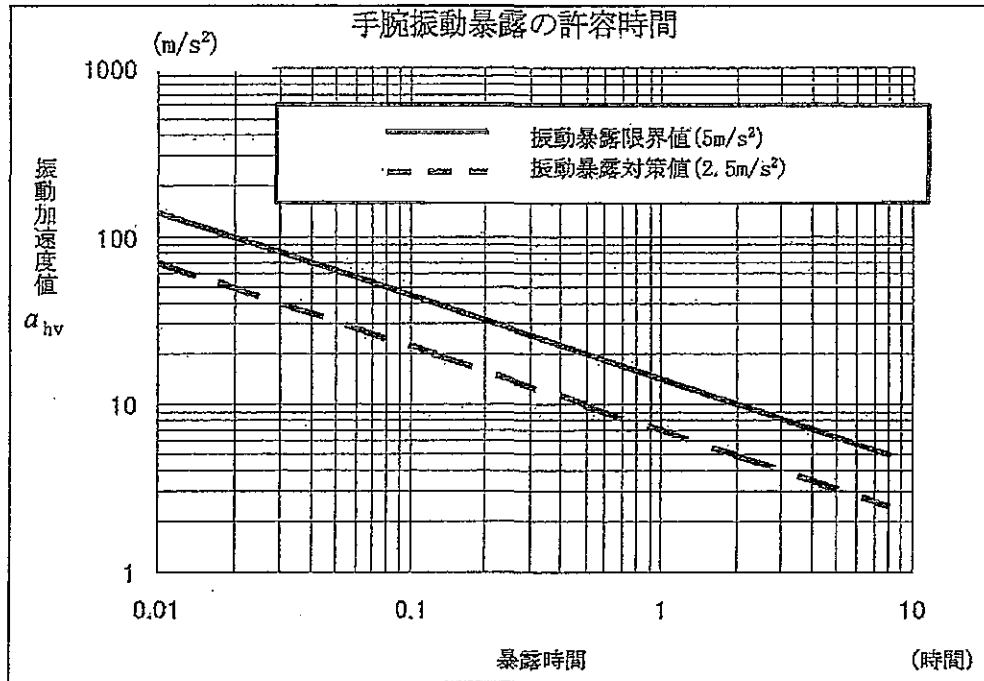
a : 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値

(注) 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値は、 $2.5 m/s^2$ rms を越えてはならない。



3. EU指令 (2002年/44/EU)

- ・ 振動ばく露限度値 5 m/s^2 (1日8時間ばく露)
- ・ 振動ばく露対策値 2.5 m/s^2 (1日8時間ばく露)



4. ACGIH (米国産業衛生専門家会議 : American Conference of Governmental Industrial Hygienists)

手に対する振動の指標

1日の総ばく露時間	振動加速度の最大感覚補正実効値 (座標の3軸の各方向について求めた値のうち最大の値) が超えてはならない値	
	m/s^2	G (重力加速度)
4時間以上8時間未満	4	0.40
2時間以上4時間未満	6	0.61
1時間以上2時間未満	8	0.81
1時間未満	12	1.22